

みなとみらい21地区

令和6年(2024年)の来街者数は約8,260万人  
～コロナ禍前の水準にほぼ回復～

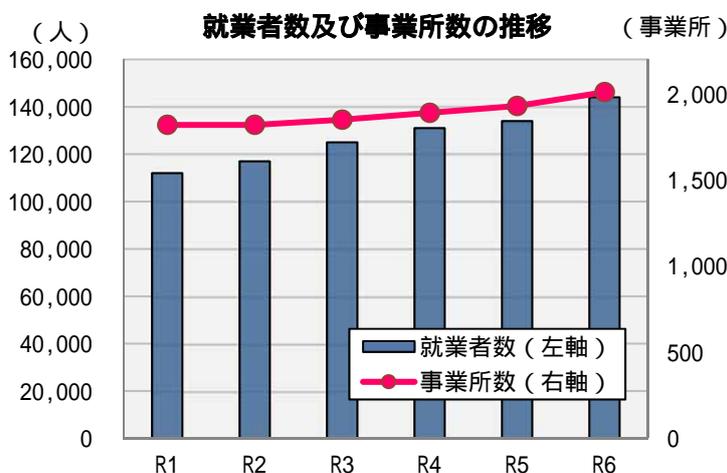
令和6年(2024年)のみなとみらい21地区における年間来街者数(推計値)は約8,260万人【約530万人増(前年比較)】となり、新型コロナウイルス感染症流行前である令和元年とほぼ同水準まで回復しました(令和元年比99%)。

また、就業者数は過去最多の約14万4千人【約1万人増(前年比較)】となりました。

令和6年の来街者数、就業者数及び事業所数

	令和6年(2024年)	参考	
		令和5年(2023年)	令和元年(2019年)
来街者数(年間)	約8,260万人	約7,730万人	約8,340万人
就業者数(12月時点)	約144,000人	約134,000人	約112,000人
事業所数(12月時点)	約2,010社	約1,930社	約1,820社

就業者数及び事業所数は、一般社団法人横浜みなとみらい21が調査を実施しています



【裏面あり】



< 参考 : 算定方法 >

来街者数

令和6年1月～12月における、地区(横浜駅東口地区を除く)への交通手段別の来街者数について、実数及び推計値を基に算定(交通手段:鉄道・徒歩、自転車、自家用車、路線バス、団体バス、船)

就業者数・事業所数

地区内の施設設置者を対象に行った就業者数及び事業所数の調査を基に算定

< 参考 : 令和6年中に新規オープンした施設 >

**A** 横浜シンフォステージ(令和6年5月オープン)

オフィス・ホテル・店舗等にて構成される2棟構成(ウエストタワー、イーストタワー)の大規模複合施設です。

ウエストタワーは、オフィスを主な用途とし、上層部には「京急 EX ホテル みなとみらい横浜」、低層部にはヤマハのブランド発信拠点等で構成される、新高島駅周辺の新たなシンボルとなる多機能交流拠点です。イーストタワーは、さまざまな企業が本社、研究開発拠点として利用することを視野に入れたオフィスを主な用途とし、低層部にはオープンイノベーションオフィスや店舗を備えています。

【延床面積】約 183,000 m<sup>2</sup> 【規模】地上 30 階、高さ約 160m

【事業主体】(株)大林組、京浜急行電鉄(株)、日鉄興和不動産(株)、ヤマハ(株)、みなとみらい53EAST(同)



提供：大林組

新規オープンした施設の位置



お問合せ先

都市整備局みなとみらい・東神奈川臨海部推進課長 浦山 大介 Tel 045-671-3679



**GREEN x EXPO 2027**  
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

